

令和5年12月25日

課題解決型実践事業

「身体表現的手法を用いた友達作りワークショップ（飯山北小学校1年生）」

業務委託

報告書

# 友達作りワークショップ

**実施日** : 令和5年12月19日 (火)

**講師** : yummydance (ヤミーダンス) のメンバー3名

**会場** : 丸亀市立飯山北小学校 体育館

**対象** : 丸亀市立飯山北小学校

1年1組、2組、3組の児童102名

実施日	スケジュール	クラス
12月19日 (火)	2時間目 9:30~10:15	1組
	3時間目 10:35~11:20	2組
	4時間目 11:30~12:15	3組

# アンケート結果

回答者 : 丸亀市立飯山北小学校教員 4名

学級担任 3名

特別支援学級担任 1名

## ワークショップの感想を5段階で評価

全くそう 思わない		どちらでも ない		とても そう思う
1	2	3	4	5

		4か5で評価 した割合	4名の 平均点
1	普段より積極的に参加していた児童が多かった	100%	4.25
2	新しい一面がうかがえた児童がいた	100%	4.5
3	普段より自己表現していた児童がいた	100%	4.5
4	普段は消極的な児童が楽しそうにしていた	100%	4
5	普段は一緒にいない児童同士の交流が見られた	75%	3.5
6	自分自身にも新しい気づきがあった	75%	3.5
7	授業に取り入れられそうな要素があった	75%	3.75
8	ワークショップ後、児童の様子に変化があった	75%	3.25
9	今後も舞台芸術のプロによるワークショップを取り入れたい	100%	4.25

# アンケートの自由記述欄の回答

(講師が) 穏やかな口調で子ども達を引き込み、体も心もほぐしていった。

まるをつくったり、全員が繋がったりしたのが、特に心に残っている。

友だちとふれあうことができ、心が穏やかになっている児童が多かった。

甘えたい気持ち強い子が多く、普段はそうでない児童も、今日はたくさん私(教員)にくっついてきた。

また機会があれば、ぜひお願いしたいワークショップであった。

**ワークショップ°写真**

ヤミーダンス  
yummydanceのダンスを見たり、マネをしたりする



# 「人間ブリッジ（橋）」で友だちとつながる





## 2人組で自由なポーズをつくる



**所感**

授業の最初に、yummydanceがコンテンポラリーダンスを披露した。「ダンスから何が見えた？」と聞くと子ども達からは、水族館、ロボット探検、遊園地、宝島、あみだくじなど多様な答えが上がり、想像を膨らませながら自由に鑑賞していたことが伺えた。

友だちの体の一部に触れながら、好きなポーズで次々つながっていくワーク「人間ブリッジ（橋）」では、他校で行った際は、前の子と似たポーズをとる児童が多かったが、飯山北小学校では1年生ながら、独創的なポーズがたくさん見られた。前の子に頭でくっついたり、足でお友だちを挟んでみるといったオリジナルの動きからは、もっと面白いことはできないかと、一人一人がワクワクしながら取り組んでいる気持ちが感じられた。

子ども達にワークショップの感想を聞くと、「友だちが手伝ってくれて違う形になった」「（友だちと）タイミングを合わすのが難しかった」といった意見の他、「これがすごかった！見て！」と再度2人組になってポーズを披露してくれた児童もいた。友だちと協力する楽しさや難しさ、他者に表現を発表するうれしさを感じてくれていたことがわかった。

今年6月から行った「身体表現的手法を用いた友達作りワークショップ」を通しての、子ども達の変化として、他者との距離感が挙げられる。新型コロナ感染症の位置づけが、5類になった直後に開催した小学校では、友だちと手が触れ合うことに恥ずかしがる姿が見られた。しかし、半年たった今は、学校や学年の違いはあるものの、子どもらしい元気なパワーが爆発している様子や、友だち、先生、yummydanceとくっついたり甘えたりする姿から、他者との距離が近くなっているように感じられた。そのことから、子ども達の人とのかかわり方が、コロナ禍前に徐々に戻りつつあるように思った。